

広報



かわにし

平成2年 10/10 No.386

〒948-01 新潟県中魚沼郡川西町大字水口沢12番地 (TEL 0257-68-3111)

(FAX 0257-68-3828)

発行 町長 南雲春雄 編集 総務課文書広報係 印刷 白南風社

(毎月10日発行)

人口の動き	
—10月1日現在—	
男	4,481 (+5)
女	4,514 (+4)
計	8,995 (+9)
世帯数	2,232 (+1)
()は前月比較	



青空のもと

あふれる若さ

爆発

9月9日、川西中学校体育祭が、同校グラウンドで開催されました。

ことは「赤と青と緑と黄のエクスタシー、若者たちよここに集え、天下を取るのはおれたちだ」がメインテーマです。

430人の生徒選手団の行進にはじまり、全校生徒がそれぞれの組のバトンリレーをする全員リレーや、趣向をこらした種目に、応援席からも盛んに声援が贈られていました。



休日救急医

10月14日 山口医院(下条) ☎55-2003

21日 大坪医院(四日町) ☎57-6100

28日 中条病院(中条) ☎57-3018

11月3日 大坪医院(四日町) ☎57-6100

4日 千手診療所(中央町) ☎68-2034

11日 富田医院(神明町) ☎52-3269

議会報告

九月六日から十九日まで、十四日間の会期で第六回町議会定例会が開かれました。

六日は、平成二年度一般会計ほか四件の補正予算が原案どおり可決され、平成元年度下水道事業会計が認定されました。

また、中村謙治さん（坪山）、南雲隆二さん（三領）、和久井守さん（木落）、長谷川力一さん（赤谷）が選挙管理委員に、富井タキさん（上野）が教育委員にそれぞれ選任されました。

十九日には、五人の議員による一般質問のあと、橋運動場照明施設整備工事請負契約と、ふるさと広場ゾーン整備事業ほか一件の工事請負契約の変更が原案どおり可決されました。

また、「バードタイマー」の労働条件の改善を求める意見書、「介護手当制度の確立に関する意見書」が、それぞれ原案どおり可決されました。

一般質問の概要を中心にお知らせします。（質問順に掲載）

養豚公害に移転の対策を

上村 広治 議員

① 過疎地域の雇用機会を増やすプラン作りの対象地域指定について

(1) このプランの構想は。
(2) 若い人の大企業指向を地元企業に向けさせる方策は。

(3) 農村地域工業等導入促進法は、団地造成だけでとどまってはいいか。
(4) このプランに、町の主となるものはあるのか。

② 文化会館の建設について
(1) あと何年くらいで建設する予定か。

(2) 内容的にどのようなものにするのか。
(3) 建設の位置はどの場所を検討しているか。また、大型共同店舗との関連で、隣接するような構想はあるか。

(4) 新過疎法第六条第二項第七号の施設は、同法第十一条に定める補助の特例に該当するか。また、過疎債の適用になるか。

③ 土地利用計画策定により、養豚団地などの移転問題を解決できないか
(1) 町の土地利用計画は、土地基本法の趣旨に反するものがあったか。

(2) 工業団地造成計画の用地の見通しは。
(3) 効果的な土地利用計画により、養豚団地の移転が実行できないか。

(4) 養豚団地の土地を町が工業団地として確保し、養豚団地移転のための資金の工面を図つたらどうか。

南 雲 町長

① (1) これは、県単位に設立された都道府県地域雇用開発協議会に国が委託する援助事業である。この協議会によって、「地域雇用開発プラン」を策定する。

プランの策定は、月一度の定期的な会合が予定されており、町からもその都度職員が出席するので、意見や情報の交換を通じて、望ましいプランの提示が出ることに期待を寄せている。

(2) 地方に立地した大企業も、労働力の不足に悩んでいるのが事実である。若者のニーズを満たす地域づくりがかぎと考える。都市的な生活環境を形成する条件整備を模索し、文化的な町づくりによって定住を促進するよう、努めなければならない。

(3) 昭和六十年に団地指定を受けたのが唯一の実績である。法律的には同じ効果を持った

移転話が出ている千手養豚団地



ものがいくつかあるが、どの地域開発法によって対策を進めるといふ選択の問題である。

(4) 雇用プランは、十日町主導、川西主導という観念にとらわれない、豊かな農産物や住民のもつ勤勉性を根拠としたプランが提示されることを期待している。

② (1) 平成三年度は少なくとも用地のメドをつけるか、基本設計に着手できるように進めたい。

庁内にプロジェクトチームを発足させると同時に、建設委員会などを設立して、建設を具体的に促進していく必要がある。

(2) コンサートが開けるホールをメインにして、生涯学習時代にふさわしい施設に、関係者のご意見を尊重した内容にしていきたい。

施設の位置は、学校や公民館などに隣接している、文教ゾー

ンが形成されることが望ましいと考えている。しかし、重要な役割は、町のシンボルとして町民の方々に親しみやすく、利用しやすい場所に位置するということが必要とされる。

(3) 商工会では、八月に町共同店舗建設準備会を設立した。

位置や時期などを含め、共同店舗建設準備会へも関係職員を積極参加させ、町の環境に似合った結論が引き出せるよう努めたい。町が見切り発車をするというこのないように、歩調を合わせて進みたい。

(4) 総務課長 第十一条第一項は、公立小・中学校統合に伴う教職員住宅の建設に要する経費に對してのものである。同条第二項は、新たに過疎地域に指定された市町村に対する助成の適応年度を定めたものである。国の補助の特例の中には、文化会館は該当しない。

文化会館建設の財源は、過疎債による起債充当を基本に考えている。

③ (1) 計画の策定時に、今日の状況が予測されていたわけではなく、現在、懸案を抱えるに至ったことをもって、計画性が欠如していた、法の趣旨に反するということとは酷に過ぎる。

しかし、社会・経済の変化の激しい時代にあつて、柔軟な対応が必要である。ニーズの多様

化と地域振興を配慮しながら相談し上げたい。

(2) 農工団地の指定を受けた塩辛地区の約一・二ヘクタールがようやく年度内に造成の見通しがついた状況である。

平成七年の九ヘクタール目標は、すでに都市計画の作業の中で見通しが行われ、都市計画の用途地区の指定を平成三年度目標に、調整作業に入っている。

その見通しは、農業振興地域・農用地域とのからみが重要課題なので慎重を期さなければなら

ない。

(3) 移転を実行したい意思は十分持っている。移転先に関しては、意識公害とも言われる点にも配慮した検討が必要であると考える。

(4) この用地代金が、現実の移転にどれだけの財源となるか、ということも心配しているところである。

持ち込まれている開発プランや都市計画との関係もあり、行政内部でその現実性を研究・協議したい。

ゴミの不法投棄への対策は

柳 藤作 議員

① 平成二年度産米の作況指数と被害状況は。

② 霧谷ゴミ捨て場への不法投棄のその後の対策は。

また、不法投棄の現状を踏まえ、各ルートを閉鎖し、中間処理場により仕分けし、霧谷へは専用車による運搬を検討しては。

南 雲 町長

① 農林水産省が発表した八月十五日現在の作況指数は、全国が一〇・三、新潟県が一〇・二、魚沼は一〇・三ということである。干ばつの被害の状況は、町で



規制をPRする立て看板(若ノ窪)

は天水田一六アールという話を聞いている。

病害虫の被害は、ほとんど見当たらず、出穂から登熟期にかけて、高温障害による品質の低下が心配された。しかし、七十二パーセント作付けされているゴシヒカリの品質は、高温障害の被害は見られないという状況であった。

西山開発第一回説明会
(8・28 総合センター)



② ゴミの不法投棄は、施設組合と綿密な連絡をとりながら、その対策を講じてきた。

住民へのPRとして、お知らせ版及び有線放送などを通じて不法投棄の防止を図っている。

日曜日、祝祭日はゴミ捨て場が閉鎖されるので、周辺への不法投棄防止のための立て看板を七十枚ほど建てPRしている。

また、現地をパトロールして現場把握に努めている。

各ルートの閉鎖は、住民の利用不平を招きかねないので、十分検討したい。

中間処理場については、有害物質の除去及び資源の再利用という利点もある。今後、十分検討しながらゴミ処理対策を推進しなければならぬと痛感している。

どうなる西山開発

戸田 哲次 議員

(株)朋玉堂グループ(本社『東京九段』が進めている、西山スポーツランド開発計画について

(1) 町では、この事業を受け入れる意思があるか。

(2) 受け入れるとしたら、町行造林などを含めて、町の対応策を示してほしい。

(3) 今度の計画のエリアの中に、庚塚運動公園も含めて整備すべきである。その具体策は。

(4) ゴルフ場で計画され使用される農薬の土壌残留値や、地下浸透度のデータは皆無に等しい。公害対策についてどう対処するか。

(5) 町の将来を考えると、公害や環境破壊防止にかかる条例制定は必要。どのように考えるか。

南 雲 町長

(1) 八月二十二日、九月五、六日にかけて、朋玉堂の主催で地権者説明会が開かれた。

説明会に出席された地権者の雰囲気からすると、今後示されるであろう条件で折り合いがつけば、この開発には同意したいといった考えが多いように受け取られた。

しかし、まだまだ不透明な計画部分もあるし、県や関係機関の指導を受ける中で、十分な対応をしなければならない。

町としては地権者の意思をはじめ、町民の声を尊重する中で、この開発実現に向けて、慎重かつ前向きな姿勢で対応してまいりたい。

(2) 開発を受け入れる場合、開発地域内の保水力の底下を防ぐための企業努力、浄化能力の保全など、万全の措置を求めなければならない。

また、企業の地域に対する利益還元にあたって、自然保護、森林空間を利用した保健・レクリエーション機能の向上といった、住民の期待に添えるような配慮がほしいものと考えている。

(3) 庚塚運動場を発展的に整備、拡大して、この度の構想と有機的に結び付けることができれば、町のスポーツ振興、町の活性化の面からも願ってもないことである。

(4) この開発計画は、大規模な土地の改変を行い、植生を大きく変更し、水質汚濁、大気汚染など、公害が発生する可能性も考慮される。さらに、騒音問題などにも留意する必要がある。このようなことから、自然環

交通量増加が予想される
発電所通り

境の保全及び公害防止の双方を目的とした環境保全協定を締結すべきと考えている。

(5) 公害及び環境破壊防止については、それぞれの法令及び、県条例が整備されている。町としてもこれらの上位法を順守しながら、町独自の開発理念を定めた要綱を制定してその対策にあたり、スポーツランド構想の推進に即応した体制を整えていかなければならないと思っている。



ホタルを町の昆虫に

柄沢 悌二議員

南 雲 町長

町の昆虫としてホタルを付け加えてはどうか。開発行為における自然環境のパロメーターとしても役立つと思う。

私自身、この問題については異論がない。早急に関係機関におはかりして、意見を求めていると聞いています。

大橋開通で安全対策に不安

北村 公男議員

南 雲 町長

① 発電所通りの交通安全について

(1) 妻有大橋の完成により、どの程度の交通量を見込んでいるのか。

(2) 大橋の開通に伴い、交通量の増大が予想され、その交通安全対策や交通規制などにつ

いての対策は。
また、現状での幅員、構造、耐久性などについてどのように考えているか。

② 消防団員の夏用の服装についてどのように考えているか

南 雲 町長

① (1) 交通量調査などから判断して、自動車の交通量を一日一

五〇〇台と推定している。

(2) 現在の発電所通りは、大型ダンプトラックを中心にした、大型車両の交通が比較的多い路線である。

したがって、山野田下平線の全線開通に至る、およそ三カ年は、かなり徹底した交通規制を行わなければならないのではないかと考えている。

交通規制については、速度制限や一方通行指示など、警察とも協議しながら規制したいと考えている。

道路改良については、ここが土地区画整理区域であり、安易な改良は差し控えるべきではないかという意見もある。とりあえず、道路の南側の側溝が老朽化しているので、側溝にフタをかけるタイプの改修を、来年中には実施したいと思っている。

② 団員の入れ替えもひんぱんで、それぞれサイズも異なることから、全員にそろえるとなると、実数の一・五倍は必要となる。経費的にも困難が予想される。

また、団員の中には、年一度の演習行事用の制服より、むしろ現場では昔ながらの制服の方が重宝する、という意見もあるようである。

分遣所、消防団と十分検討したうえで対応していきたい。

きょうは私たちが主役

九十五歳の祝い品を受けられた増田さん（中央）



老人週間（九月十五日～三十日）にちなんで、町と県から七十五歳以上七〇人に、敬老祝い品が贈られました。

なかでも、八十八歳（米寿）十五人、九十歳（卒寿）十四人、九十五歳お一人には、九月十五日「敬老の日」に、町長と助役が各世帯を訪問して、直接祝い品をお渡ししました。

今回訪問した最年長、室島の増田文吉さん（95歳）は、「自分では九十二歳だと思っていた。町から九十五歳の祝い品を渡してくれると聞いて、ビックリしていました。二歳損をした。」と、ユニークな話題も飛び出しました。

また、あと三年で文吉さんは九十九歳（白寿）を、奥さんのヌイさんも八十八歳（米寿）を迎えられます。ご夫婦そろってのおめでたになるという、町でもめったにないケースも生まれるかもしれません。

長寿の秘訣は、①気持を若く持つこと②目的を持つこと③家内和合であること、だそうです。「お年寄りの皆さん、健康で長生きしてください」という気持ちでいっぱいの一日でした。



卒寿の祝い品を受けられた若山ミツさん（中央）
（新町新田）

第 1 回 町民文化祭 かわにし '90

向井承子文化講演会

(川西町公民館)

● 日 時 / 11月10日〔土〕

14:30~16:30

● 会 場 / 川西町商工会館
第1研修室



オープニングセレモニー

● 日 時 / 11月10日〔土〕

14:00~14:30

● 会 場 / 川西町商工会館
第1研修室

第2回公民館作品展

(川西町公民館)

● 日 時 / 11月10日〔土〕 9:00~20:00
11日〔日〕 9:00~17:00

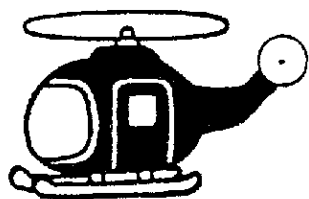
● 会 場 / 総合センター大ホール
(版画、焼物、写真)
総合センター集会室
(手芸、リフォームソーイング)

第16回川西町美術展

(川西町美術協会)

● 日 時 / 11月10日〔土〕 9:00~20:00
11日〔日〕 9:00~17:00

● 会 場 / 総合センター
(大ホール)



自作ビデオ上映会

(ビデオクラブかわにし)

日時 / 11月10日〔土〕 10:00~20:00

11日〔日〕 9:00~17:00

会場 / 総合センター研修室

ふるさとを愛する一夢一 フライト事業作品展

日時 / 11月10日〔土〕 9:00~20:00

11日〔日〕 9:00~17:00

会場 / 総合センター集会室

ゆーゆーコンサート

(川西コンサート協会)

● 日 時 / 11月11日〔日〕

13:30~15:30

● 会 場 / 千手小学校
体育館



ふきのとう人形劇

「3枚のお札」 (読み聞かせの
会ふきのとう)

● 日 時 / 11月11日〔日〕

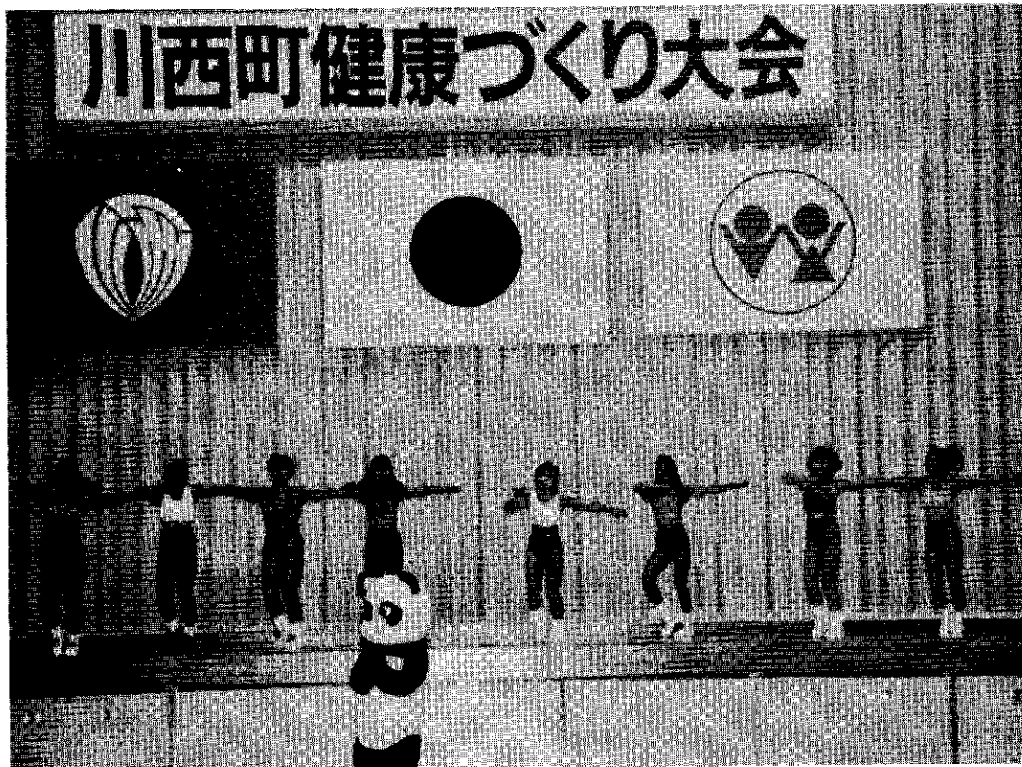
10:00~11:30

● 会 場 / 川西町商工会館
第1研修室

健康づくり大会

九月三十日、総合体育館で、健康づくり大会が開かれました。当日は、第三回町民つな引き大会や、第二回健康づくりゲートボール大会も実施されました。午前十時の開会式では、五十

回以上、三十回以上の献血功労者、保健衛生功労者、一年間家族全員が一度も医療機関を使わなかった、十世帯の健康家族の表彰がありました。また、「エアロビクスで健康



インストラクターの皆さんによるエアロビクス実演。
ぬいぐるみさんも応援しました。

づくりを」と題し、十日町市の関口陽子先生から、音楽に合わせた軽い体操の指導がありました。

なかまの家や老人クラブが作った作品の展示即売、健康づくりパネル展示にも、多くの人が足を止めて見入っていました。好評のおにぎり昼食会では、農協提供のコシヒカリ三俵で作った、おにぎり三千個と、豚汁一〇〇〇人分は、あつというまになくなってしまいました。

表彰された方々

● 献血功労者

(敬称略)

(県表彰)

50回 丸山 捷一(東善寺)

(町表彰)

38回 金子 澄男(岩瀬)

35回 南雲 源三(中仙田)

山口 清(仁田)

高橋 悦子(神社町)

34回 若山 俊雄(上野)

高橋 賢一(中屋敷)

33回 中条 歳一(大倉)

小海 正隆(小根岸)

32回 丸山 晴久(中屋敷)

桐生 大(大白倉)

星名 一弘(沖立)

31回 南雲 寅太(田中町)

30回 高橋喜三郎(三領)

● 保健衛生功労者

西山 ミイ(下平新田)

柄沢タケノ(沖立)

宮 シズ子(発電所通り西)

● 健康家族

川崎 正夫(中島町)

田中 精作(神社町)

樋間 精一(伊友)

星名 幸(霜条)

山岸 徳次(〃)

上村 健三(上野)

星名 力男(〃)

佐藤喜久治(小脇)

高橋 喜吉(田戸)

小川 武良(赤谷)



まず軽い体操から



小学校高学年の部で優勝した仁田ジュニアA

第3回町民つな引き大会 結果

〈小学校低学年の部〉

- 1位 さくら草A (千手小)
- 2位 SSC中仙田
- 3位 柔道協会C
- 3位 三箇

〈小学校高学年の部〉

- 1位 仁田ジュニアA
- 2位 元町
- 3位 千手小5年B
- 3位 題名のないつなひきチーム

〈一般の部〉

- 1位 木落A
- 2位 白倉A
- 3位 ポパイandオリーブ
(発電所通り)
- 3位 柔道協会A

第2回健康づくり ゲートボール大会結果

- 1位 木落高砂会
- 2位 赤谷睦会
- 3位 沖立老人クラブ



残念、ゲート通過ならず

自動血圧測定器を
めずらしそうに見ていました



健康ウルトラクイズ当選者発表

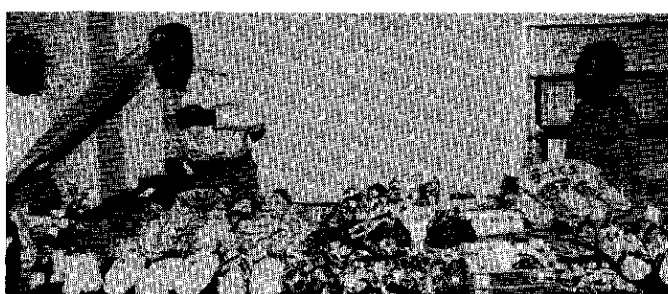
町内の全世帯にお配りした、健康ウルトラクイズに714通の応募がありました。全問正解の方々の中から、抽選で小学生の部では、高野将君(仙田小) 一般の部では、小林イツ子さん(中仙田)が当選しました。

小学生の部で一位の表彰
を受ける高野君



大好評だったコシヒカリのおにぎり昼食会

老人クラブによる
手づくり民芸品も
展示即売されまし
た。



一般の部で一位の表彰を
受ける小林さん。



大空へ飛ぶ

夢フライト事業に満足



川西町がどんな所になっているか...
空から地元を見る事が、こんなに大きな興味深い
ものだ。自分と全身を打ち合わせた思いです。
普段、何気なく通る道、何気なく見る建物も、
スチールの大きさの中に吸い込まれていて...
地図で見る事は絶対不足のことに思えない。
貴重な体験を、しっかり残しておこうと
思いました。

32歳の男性

九月一日から四日までの四日間、橘野球場を発着地点として、ふるさと創生事業の一つにあたる、「夢フライト事業」が実施されました。

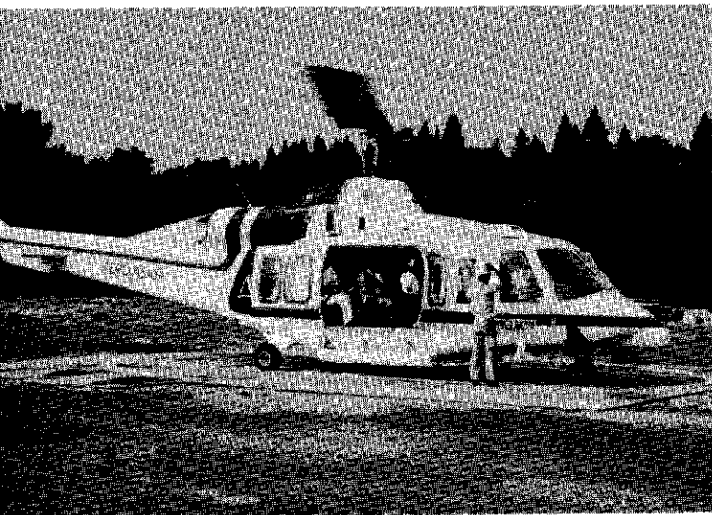
この事業は、一般市民と小・中学生を対象に、大型ヘリコプターで町内上空を遊覧して、地上でしか見ることでできない「わがまち」を見て、ふるさとの良さを知ってほしい。また、ふるさとを愛する豊かな人間性を持った児童・生徒に育ってほしい、そんな願いを込めて企画されました。

四日間で延べ二一回のフライトが行われ、一八三三人が空から町の姿を眺めました。(以下、お寄せいただいた感想の自筆原稿をそのまま複写転載しました。)

ヘリコプターにのって
たのしいのレゾーカ
きれいでした。
あつたけと、ふろや
らかまわってあずかた
よ! きもちよかたよ。
おつかれさま
またのせとくたさる。

6歳の女の子





今までない、画期的な企画だと思います
 出頃、物質的には豊まれ、物が余っている
 ような時代ですが、精神的には余裕がたり
 ように思います。
 感性を刺激する、今回の夢ファイト事業、
 とても素敵だと思います。

— 39歳の女性 —



美しい緑の山、稲り豊かな田園風景を
 目のまじりに、とてもいい体験をさせて
 もらいました。そして考えさせられました。
 「山紫水明」といいますが、信濃川の
 水の少ないのか、とても気がかりでした。
 水は命の綱であることを再認識して
 いく必要を強く感じました。

— 58歳の男性 —

お天気が良くてあつい日だから、
 川面が良く見える事があって
 とてもすばらしい。やうやう。ちよと。
 心配はなかったが、無事にファイト
 事業で、良かったと思えます。
 もともと、多くの人が参加して
 川面がすばらしいことを知って
 もういはいと思える。た。

五十四歳の女性



ある青年会の記録 ⑧

岩瀬 金子 幸 作

署長が白倉を賞美

大正二年(一九一三)四月九

日、白倉校ニ於テ下組青年大会ヲ開ク。片山中魚沼郡長、佐藤十日町警察署長、登坂仙田村長ヲ招待ス。出席者二百余名。

登坂匡次村長ハ村民ノ和合、良イ官吏ト一般人民ノ関係ヲ説及ス。片山郡長ハ納税ニ口ヲ開キ、国家ニ対スル青年ノ義務、家内和合、婦人ノ貞操、人道ノ要路ヲ説ク。佐藤署長ハ刑法ト地方自治ノ関係ヲ説キ、郡内犯罪者ノ年々増加スルヲ嘆キ、白倉ニ数百年来火災ト犯罪者ノナキヲ賞美シテ舌ヲ結ブ。

富国強兵に向けて

六月拾四日、中魚沼郡青年会第四回総会ヲ十日町校ニ於テ開催、本会ヨリ四名出席ス。協議事項(実行要目)ハ左ノ如シ。

敬神ノ念ヲ一層發揮スルヲ為、神社境内ノ掃除ヲ各青年会ノ担任トシテ不斷実行スル。

善良ナル気風振作ノ為、各会ニ設ケアル制裁ヲ実行スル。

各青年会ハ、各々一反歩以上ノ陸稻及ビ大豆ヲ耕作スル。

富国強兵ノ実ヲ揚グル為、青年会員ハ角力、撃剣、盤持、歩行ニ務メ、心身ヲ鍛錬スル。

この年、十日町新聞(大正二年六月五日号)によると、徴兵検査の甲種合格者は仙田村四〇人中一三人、橋村一八人中六人、上野村一四人中六人、千手町村一二人中一人、中野村一四人中七人となっている。

弊風矯正に卒先

七月六日、仙田連合青年会ノ総会ヲ仙田校ニ於テ開催ス。

決議事項 弊風ヲ矯正シ、美風良習ヲ助長スルハ本会ノ主眼トスル所ナリ。本会員ハ、本村ニ存スル左記ノ弊風ヲ率先シテ矯正セント欲ス。

神仏ヲ敬信スルノ念薄カラズト雖モ、其神社仏閣ノ荒廃ヲ默過シ放置スルノ弊アルコト。

公德ヲ重ンゼザルコト。

共同精神ニ乏シク、又、自己ノ權利ヲ主張スルガ如ク、義務遂行ノ念強カラザルコト。

旧弊ヲ専守シ、進歩、改良ヲ知ラザルモノアルコト。

他人の葬儀、婚札ニ対シ、礼ヲ失スルモノアルコト。

衛生思想ノ幼稚ニシテ、伝染病ノ発生及ビ蔓延アルコト。

不正ノ発音、野卑ナル言語、訛音ノ矯正ニ注意ナキコト。

牛馬使役ニ虐待ノ弊アルコト。

岩瀬ノ中条正福君ヨリ、「軍人ニ敬意ヲ表スルタメ会員ヲ免除スル件」、中仙田ノ小林誠治會長ヨリ、「入営兵士ニ慰問状ヲ發送スルノ件」ノ動議アリ。満場一致ニテ二件トモ議決ス。

岡村様と観音堂

岡村ふじ江様が、母ヨシ様から聞いておられた岩瀬観音堂の由来をお送りくださいました。その大要をご紹介します。

淡海川が岩瀬の村なかを流れていたころは、上ミの後ろから十二田まで山が続いていました。

この峰が洪水で洗われ、今の川の真中あたりにおわした観音様が流失しました。相野原で東田中のだんな様が拾ったと聞き、

もらいに行ったら観音様が重くて動かず、現地に祭られました。

観音様から上ミの当主に、「私は小国に居ても岩瀬の村は守るが、御地にも私の身代わりを置いてほしい」と夢知らせがありました。仏師に、馬頭観音、地藏菩薩、薬師如来、子育て観音を刻ませて安置しました。

この聖地(隠寮)が、妻有百三十三番のうち九十五番の霊場になったのです。十日町水月庵のご隠居様が、西国百三十三番をお参りしたいと日ごろから念じておられたのに、その機会を得られぬので残念に思っていました。元禄の初年に、夢で「妻有にも歩けば百三十三番の札所ができる」と知り、旧中魚沼郡内をくまなく歩かれて札所を定めたと聞いています。

母が健在のころは毎月七日、十六日、二十三日に、村のおばあさんたちが隠寮に集まって念佛を唱えました。十九歳と三十

流れた観音様を祭る
中里観音堂
(小国・相野原)



三歳の女人は、隠寮にこもって厄払いをし、祝い楽しみました。千手で医院を開業したことのある弟の武夫が、ある年、医者との友達を大勢連れて祭祀に来ました。佐七の保治サと宮下の勝文サ(ルソン島で戦没)の弥次喜多の芝居を見て、「本場の劇場でもあれだけの芸はできない」とほめてくれたものです。

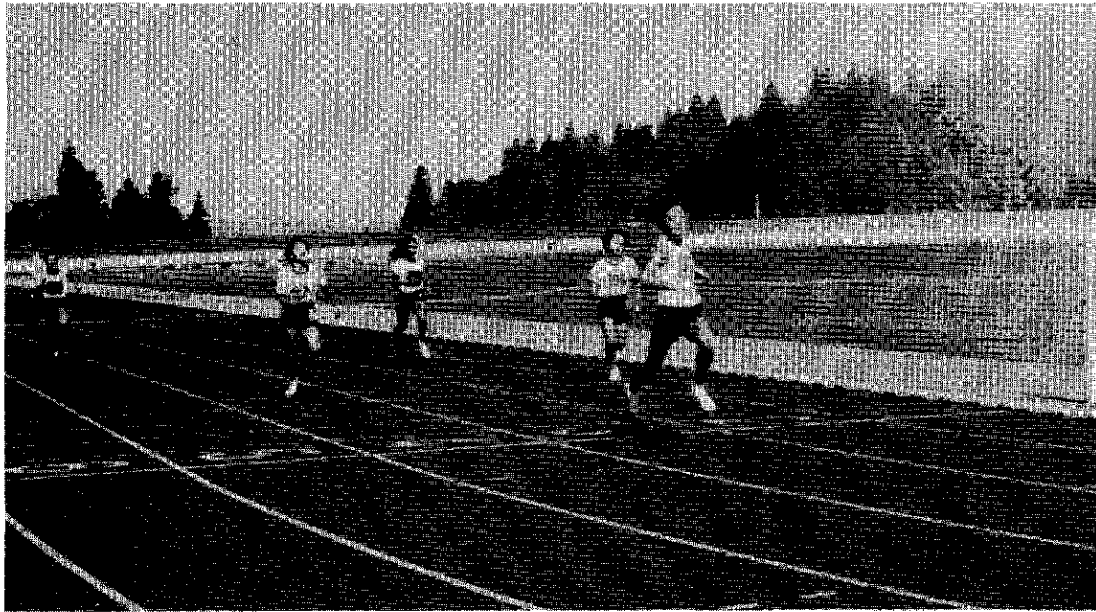
私が娘のころ、小千谷の仏師が家に来て、観音様を十日も洗い直し、隠寮も改修しました。

小国へ流れた観音様は、慶安の前にも流失したことがあり、その時は岩瀬へ返したとも語られています。兄の祿蔵(十日町病院の創始者)が新潟医専を卒業した大正十三年に、母と西谷温泉へ湯治した帰りに、この観音様を拝んだ記憶があります。



小国へ流れた観音様

第21回町内小学校 親善陸上大会 結 果



5年女子100メートル競走

九月二十一日、十日町市陸上競技場で、町内小学校（五十六年）親善陸上大会が開かれました。当日は、九種目で大会新記録が生まれました。

（*印＝大会新）

【男子】

5年男子100メートル

①中条孝一（千手）②柄沢友之（同）③片桐健太（同）

6年同

*①小熊敦剛（上野）②柳清輝（千手）③山本章人（橘）

5年80メートルハードル

①高橋伸一（千手）②清水利光（上野）③小川正（仙田）

6年同

*①柳清輝（千手）②滝井工（橘）③星名力成（千手）

5年1500メートル

①井上吉典（千手）②長谷川正和（仙田）③関口弘宣（千手）

6年同

①沢潟誠也（千手）②村山正浩（同）③上村敦（上野）

5年走り幅とび

①山口淳史（橘）②長谷川正和（仙田）③井上吉典（千手）

6年同

*①星名康宏（千手）*②山本章人（橘）③渡部人志（上野）

5年走り高とび

①清水利光（上野）②高橋伸一（千手）③丸山直樹（同）

6年同

*①小熊敦剛（上野）②滝井工（橘）③星名茂（千手）

5年400メートルリレー

*①千手A ②千手B ③橘

6年同

*①千手A ②橘 ③千手B

【女子】

5年100メートル

*①野上康代（千手）②池竹千津子（橘）③山本有紀（同）

6年同

①小林純子（千手）②柳房恵（同）南雲朝子（同）

5年80メートルハードル

*①野上康代（千手）*②高橋陽子（上野）③小幡佑佳（橘）

6年同

①中村早苗（千手）②丸山由加里（同）③高津京子（橘）

5年800メートル

①星名冴子（上野）②柳香織（千手）③斉木桂子（同）

6年同

①中村早苗（千手）②柄沢英理子（同）③佐藤有子（同）

5年走り幅とび

①羽鳥真弓（上野）②星野智子（仙田）③松沢春香（上野）

6年同

①柳房恵（千手）②小林純子（同）③高野五月（仙田）

5年走り高とび

①池竹千津子（橘）②星名冴子（上野）③小幡佑佳（橘）

6年同

①相崎真理子（千手）②南雲朝子（同）③星野美奈子（橘）

5年400メートルリレー

①千手A ②上野 ③橘

6年同

*①千手A ②千手B ③上野

生涯学習シリーズ (5)

《子どもたちと生涯学習》

家庭は生活の原点です。そこから人間形成の第一歩が始まり、子どもたちの生活圏は次第に地域社会・学校へと大きくなっていきます。子どもたちは、いろいろなことを体験し、多くのことを学びながら成長していきます。

期待される人間像は！

近年の生活水準の向上や少子化の傾向の中で、物質的に恵まれ、のびのびと個性を発揮し、明るく積極的な生活を送っている子どもたちが多くなっていると言われています。しかし一方では、協調性・忍耐力や社会的関心に乏しく、また、基本的な生活技能も十分身に付いていないなどの指摘もあります。

では、これからの社会が要求することは何でしょう。それは人生八十年といわれる長い生活を送るに必要で、また、基本的な生活技能も十分身に付いていないなどの指摘もあります。

て強く自己実現を目指すたくましい人間」を育てることでしょう。

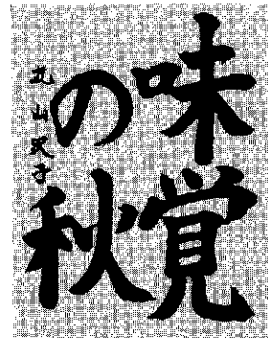
学ぶ姿勢は家庭から！

「人生において最初に出会う教師は親である」といわれます。家庭は子どもにとって人間形成の最初の間であり、生涯学習という視点から見ても、長い人生を充実させていくために学び続ける最初の機会と場を提供するところです。

では、親は子どもに対してどのような環境を作ってやればいいのかでしょう。まず第一には、親が子どもとの触れ合いを多く持ち、子どもに体験、思考、選択させる機会を豊富に持たせてやることだといわれます。特に体験の場は意図的に、適切に与えることが必要でしょう。そして第二に、親自身がひたむきに楽しくスポーツや学習に親しみ続けることです。この姿が子どもたちに無言の教えとなって、学ぶ意欲や姿勢を育てていくことになるでしょう。

ちいさな展覧会

橘小学校



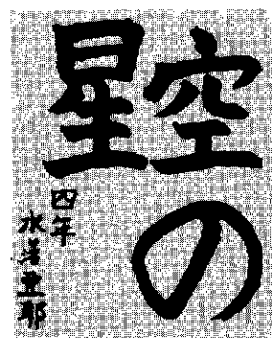
6年 丸山沢子さん



1年 野沢 新司君



5年 佐藤 智之君



4年 水落亜耶さん



3年 山口康太郎君



2年 大久保 淳君

(11月号は仙田小学校です)

図書室 だより

幼児の好きな民話絵本

民話は、遠い昔から囲炉裏ばたで語りつがれてきた私たちの祖先の夢と希望と知恵と、そして笑いの結晶である、といわれています。

「むかし むかし」「とんとむかし」などではじまる民話の魅力は、その繰り返しの筋運びと、「語り口」にあるのではないでしょうか。

子どもたちに民話を語ってやると、素朴な感動と共感が、人とひとの心のきずなを結びつけてくれるのを肌で感じることが出来ます。

民話絵本の紹介

- ねずみじょうど 瀬田貞二 福音館書店
- ももたろう 松居 直 福音館書店
- おおきむ こさむ 松谷みよ子 偕成社
- かっこのからんこからりんこ 川崎大治 童心社
- おにのよめさん きし なみ 偕成社

チャリティーバザーのお知らせ

と き 10月21日(日)午前10時～午後4時
ところ 川西町総合センター
主 催 チャリティーバザー実行委員会
(高倉国際村・町民有志で構成)
お願い ご家庭で不用の品物があったら、10月15日までに総合センターへお届けください。
問い合わせ先 ☎68-2308 町社会福祉協議会 有線 2587

善意

(敬称略)

一般寄付(香典返し) 大久保クニ(野口) 五万円

広報発行に

吉岡 澄子(上尾市) 一万円

- かもとりごんべえ 齋藤君子 ほるぷ出版
- したきりすずめ 石井桃子 福音館書店
- びんぼうがみとふくのかみ 大川悦生 ポプラ社
- かにむかし 木下順二 岩波書店
- やまなしもぎ 平野 直 福音館書店

イキイキ体験



下島(沖立)に勢ぞろいして、「はいポーズ」

九月十五日、十六日の二日間、松葉荘や沖立のほ場などを会場に、「田舎と巨仲イキイキ川西体験ツアー」が行われました。

この催しは、「越後かわにしこねかの会社」が、町の独身男性と都会の女性知り合える機会になるようにと、毎年実施している通称「稲刈りツアー」で、ことしで四回目となります。

前回までの参加者の紹介で参加した、埼玉県や千葉県などの二十二人の独身女性が、町の独身男性二十一人と交流しました。松葉荘での日本海グルメパーティーで田舎の味を満喫して、町の男性と親交を深めました。

また、メインの稲刈りでは、ジーパンや運動着に着替え、コシヒカリの手刈りに挑戦。大型コンバインを操作して大喜びしている姿も見えました。

一方、地元の青年たちは、日ごろコンバイン作業に頼っているためか、稲の束ね方を忘れていたものが大半で、こちらの方は悪戦苦闘の様子でした。

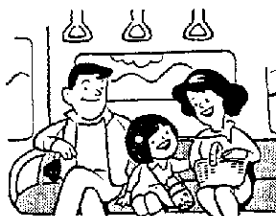
参加した女性からは、「とても楽しかった。お米も、お魚もおいしかったし、みんな優しい方で、また参加したいです。」との声も聞かれました。

主催者もまずはひと安心といったところでしょうか。

戸籍の窓から

昇天—ごめい福を祈る

川崎ノリ子 47 (作 重) 室島
大久保克治 63 (本人) 野口



かわい
俳壇

太田白南風選

うぶ声—おすこやかに

水落 啓介 三夫 二男 仁田

上村 俊明 藤雄 長男 上野

茂野 勇樹 耕太郎 長男 伊友

登坂 拓矢 一夫 長男 岩瀬

山口 友紀 行夫 二女 仁田

白井 大博 晃 長男 寺尾

ようやくに虫の音となる夜半の窓 萩の花古庭守りて老一人

虫の音も騒音もするむし暑さ 赤谷 登坂 酔月

コスモスの連なり咲ける塩の道 秋雨に逝きし古老をしのびつ、

野沢菜を間引く手先を蝶のとぶ 八王子市 田中 ひさ

朝霧や大豊作の畦に立つ 野分きて八方に伏す稲を刈る

霧ヶ峰ピーナスライン霧深し 中仙田 高野仙蒼子

草刈機止めて残暑の汗を拭く 豊作を喜び合うて夫婦稲架

長男の嫁の決まりて秋祭 断崖や葛の大きく垂れており

高麗犬の左右に怒り神の留守 八王子市 松浦 サク

辻々を子供相撲の触れ太鼓 猛暑過ぎ一雨ありし虫の声

御当地と高き名乗りや草相撲 発電所通り春日 ぶん

倒伏の稲に雨来るわびしさよ 煎じ薬煎に匂う秋の朝

煮含めて乱切り冬瓜つやつと 台風のゆくり進む荒る、ま、

早生刈りしあと青々と稽立つ 敬老の日をいたわられ幸せに

木落 丸山鉄四郎 小白倉 江口みゆき

足立区 駒形 頼太 軒下の朝顔今朝も咲きつづく

早生刈りしあと青々と稽立つ 夕焼けのチャイム稲田にひろがり

霜条 星名 星光 仁田 小幡しん女

早生刈りしあと青々と稽立つ 野口 野沢 静江

早生刈りしあと青々と稽立つ 野口 野沢 静江

早生刈りしあと青々と稽立つ 野口 野沢 静江

早生刈りしあと青々と稽立つ 野口 野沢 静江

早生刈りしあと青々と稽立つ 野口 野沢 静江

早生刈りしあと青々と稽立つ 野口 野沢 静江

早生刈りしあと青々と稽立つ 野口 野沢 静江

早生刈りしあと青々と稽立つ 野口 野沢 静江

早生刈りしあと青々と稽立つ 野口 野沢 静江

ウオキングで健康づくり

「体にいいこと何かしてますか」、あなたなら何と言って答えますか？

今回は、身近な「ウォーキング」で健康づくりをしている、発電所通り西・藤田宏太郎さん(67歳)にお伺いしてみました。

☆はじめたきっかけは

去年五月に退職して、これからは体を動かさなければならなと思ったこと。

公衆衛生推進協議会の重点項目が健康づくりとなっているので、自分から実践しようと思っではじめました。

☆どんな方法でやっていますか

一日のスケジュールの中で、



仕事に差し支えない時間で朝食前。夏場は五時、冬場は六時ころです。

☆一日の目標歩数は

五千〜六千歩です。およそ一時間くらいかけて歩きます。

☆歩いている仲間はいま

いっしょに歩いてはいませんが、四〜五人は顔を合わせます。

☆歩いてみての感想は

早寝、早起きの習慣ができたこと。歩きながら気がつかない景色が眺められたり、思いがけず、いい句が浮かんだりします。

☆これからの目標は

無理をしないで長続きさせた

い。

☆町民の皆さんに一言

やろうと思えば、いつからでも、どこでも、何もいらな